

# 高格付海外債券ファンド(毎月)

『愛称：きらきら星』



格付：**B-2**



格付けが高く相対的に高金利な5通貨を選定し、日本を除く世界の国債などに投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

日本を除く世界の債券

利回り

-2.66%

## 概要

格付けが高く相対的に高金利な5通貨を選定し、その国々の格付けの高い国債などに投資。安定的な利子等収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指す。毎月20日決算。

## リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	AUD ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元：三井住友アセットマネジメント株式会社

Web: <http://www.smam-ip.com/index.html>

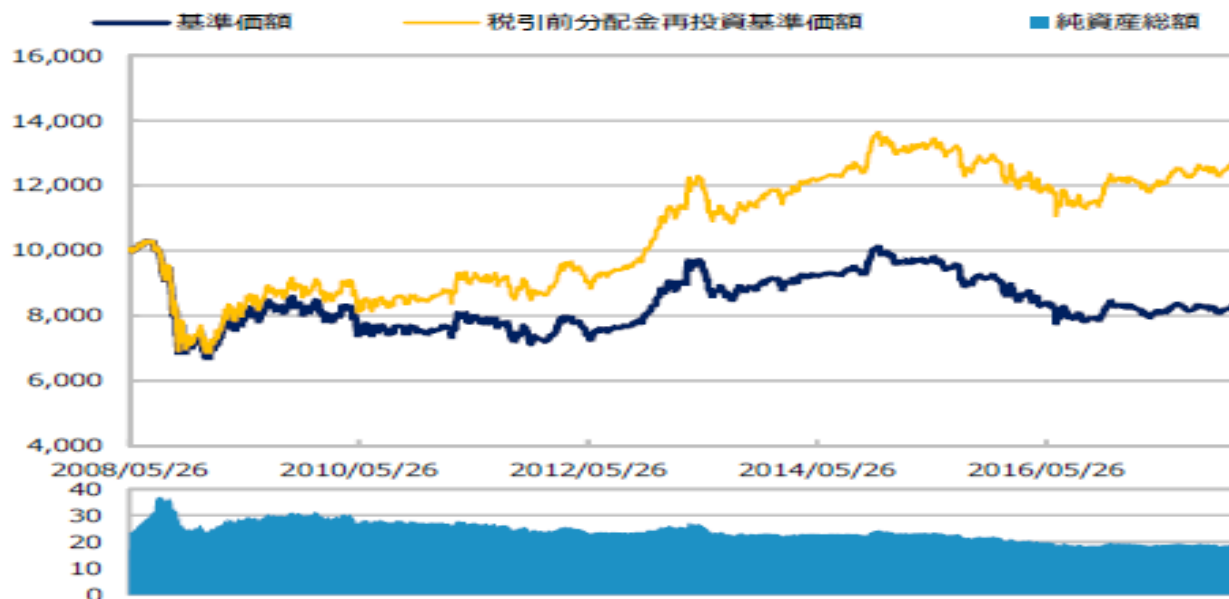
所在地：東京都港区愛宕二丁目5番1号

愛宕グリーンヒルズMORIタワー 28階

## Summary

1月の債券市場では、本投資信託の全ての投資国の債券利回りが上昇（債券価格は下落）。米国では、経済指標が全般に底堅い内容となったことや国債増発による需給緩和観測、原油価格の上昇を受けた期待インフレ率の高まりなどを背景に債券利回りは上昇し、米国以外の投資国についても、米国債利回り上昇の影響に加え、ユーロ圏などで金融政策の正常化観測が高まったことも、債券利回りの上昇に影響した。また、カナダでは0.25%の利上げが実施されたことも債券利回りの上昇圧力を高めたとみている。米国では底堅い景気が続く中、金融環境が依然緩和的であることから、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融政策の正常化が継続する見通しであり、債券利回りは緩やかに上げる展開を予想。米国以外の投資国の債券利回りについては、利上げ局面にあるカナダの債券利回りは上昇圧力がかけやすいものの、その他の投資国については、当面低金利政策の継続が予想されることから、もみ合う展開を予想している。なお、今後の運用については、1月末の各市場の金利水準を総合的に判断した結果、2月も引き続き同様の5通貨（アメリカドル、カナダドル、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、シンガポールドル）への投資を継続する方針としている。よって、リターン面を「B-」、リスクを「2」と判断する。

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。